

3-6 第6分科会「宇宙教育(プラネタリウム番組制作体験)」まとめ

報告書 担当 川村教一

分科会テーマ	宇宙教育 (プラネタリウム番組制作体験)
担当者・メンバー	担当者 川村教一 メンバー(4名) 阿部秀人、岩田英士、菊地奈々美、和田俊祐
活動の概要	児童の宇宙への興味・関心を高める学習活動のひとつとして、プラネタリウムを用いて行う教育プログラム作りに取り組む。番組づくりを通して、教育素材収集、教材の構成、プラネタリウム投影機の構造と機能についての知識や理解を深める。
活動のプロセス	<p>第1回 イン트로ダクション：分科会の趣旨説明を聞くとともに、参加者各自が取り組みたいことについて意見交換を行った。その結果、活動テーマは児童向けのプラネタリウム番組を制作することとなった。</p> <p>第2回 プラネタリウム番組テーマの検討：プラネタリウム投影機の構造と機能について、調べてくることが宿題のテーマとして出された。</p> <p>第3回 プラネタリウム番組の構成案の検討：プラネタリウム番組企画書（テーマ「宇宙人に会いに行こう!」）を作成し、取り上げる天体を太陽系に設定した。また、プラネタリウム投影機の構造と機能について各自が調べてきた内容をまとめ、情報を共有した。宇宙空間や天体について理解を深めるため、これらについて調べてくることが宿題のテーマとして出された。</p> <p>第4回 プラネタリウム見学：秋田県児童会館を会場に、投影機の構造と機能について同会館職員から解説を聞いた。見学内容についてはレポートにまとめた。</p> <p>第5回 プラネタリウム番組の構成案の検討：番組の構成、キャラクターデザイン、ストーリー案を検討した。</p> <p>第6回 プラネタリウム番組台本の検討(1)：ストーリーに加え、絵コンテを検討した。特に、番組で使用する画像素材を分担して収集したものを検討し、選定した。また、高校放送部経験者の学生から、番組制作上の工夫や注意点などのアドバイスを聞いた。</p> <p>第7回 プラネタリウム番組台本の検討(2)：番組における画像提示は、パワーポイントのスライドショーを基本とした。前回選定した画像をスライドショーに編集し、ストーリーとの整合性や見やすさについて検討した。台詞台本は各自が分担して執筆したものを持ち寄り、検討結果をもとに改善点を洗い出した。台本の改訂は各自分担しての宿題とした。</p> <p>第8回 台本読み合わせ(1)：台本をほぼ完成させた。スライドショーを見ながら台詞を読み上げて、スライドショーのアニメーションや台詞内容の問題点を抽出・検討した。ボランティアの聴衆から、番組改善点について、番組タイトル、スライドショーの構成、アニメーション、台</p>

	<p>詞の読み方、BGM あるいは音響効果の導入についてのアドバイスを聞いた。また、関係図書・視聴覚教材の紹介があった。</p> <p>第9回 台本読み合わせ(2):スライドショーをほぼ完成させた。BGMを流しながらスライドショーを行い、台詞を読み上げる練習を行うと同時に、台詞の微修正を行った。スライドショーのアニメーションや台詞の改善点をなお検討した。</p> <p>その他自主活動:授業時間外に学生が学内や学外のプラネタリウム(秋田県児童会館)に集まり、台本読み合わせなどに取り組み、作品の完成度を向上させた。</p>
<p>まとめ</p>	<p>本分科会では、秋田県児童会館プラネタリウムで上映できる児童向けの学習番組を作成した。番組はパワーポイントのスライドショー、ナレーション、BGM 演奏を併用したマニュアル形式のもので、主要な太陽系天体の特徴について知識を深めさせるとともに、児童の宇宙への興味や関心を高めることをねらいとした。</p>